守口駅 40分コース

Osaka Metro まちさんぽ

谷町線 守口駅

東海道57次守口宿

京街道・文禄堤（ぶんろくつつみ）の残影を歩く

豊臣秀吉が京街道を開き、2代将軍・徳川秀忠が東海道に京街道を加えて「東海道57次」としました。江戸から大坂城京橋口へ向かう最後の宿場が守口宿で、街道筋1.2kmほどに本陣、問屋場、旅籠（はたご）、茶屋が並んでいました。

スタート駅 谷町線 守口駅 ③号出口

約40分

1	2	3	4	5	6	7	8	9
十三夜坂 文禄堤・京街道	復元高札場	来迎坂	難宗寺	盛泉寺	瓶橋跡	上見附 一里塚跡	守口宿本陣跡	ゆかりの書院跡 大塩平八郎

ゴール駅 谷町線 守口駅

秀吉は毛利家ほかに命じて淀川左岸の堤防を整備させ、京・大坂の最短陸路として京街道を設けました。文禄堤（ぶんろくつつみ）と呼ばれたその堤防は、その後の度重なる淀川改修や開発工事でほとんど姿を消しましたが、守口の街道筋で面影を偲ぶことができます。

守口駅 40分コース

Osaka Metro まちさんぽ

谷町線 守口駅

東海道57次守口宿

京街道・文禄堤の残影を歩く

豊臣秀吉が京街道を開き、2代将軍・徳川秀忠が東海道に京街道を加えて「東海道57次」としました。江戸から大坂城京橋口へ向かう最後の宿場が守口宿で、街道筋1.2kmほどに本陣、問屋場、旅籠、茶屋が並んでいました。

スタート駅：谷町線守口駅③号出口　→　約40分　→　ゴール駅：谷町線守口駅

1 文禄堤・京街道・十三夜坂

文禄堤は、文禄5年(1596)に秀吉が毛利輝元・小早川隆景・吉川広家の三家に命じて築かせた淀川左岸の堤防です。堤防の上は京・大坂間の最短陸路として京街道(京では大坂街道)と呼ばれました。文禄堤は総延長約27kmもありますが、淀川の度重なる改修や開発工事で当初の堤はほとんど姿を消しており、守口でのみ残影が見られます。付近にはうだつの残る建物など宿場町の面影がいまでもうかがえます。文禄堤から下る坂は十三夜坂と呼ばれて中高野街道の起点になっています。

2 復元高札場

文禄堤跡に平成28年(2016)に守口市が設置した守口宿の高札場が再現されています。高札場とは幕府が発布した定(法令)の掲示板で、幕府認定の宿場町には必ず高札場が設けられていました。

3 来迎坂

現在、守口市佐太にある来迎寺がこの場所にあったことから、文禄堤に上るこの坂に寺の名前がつきました。坂上に奈良街道の道標があり、ここから四条畷の清滝街道までは守口街道とも呼ばれ、奈良へ通じていました。

4 難宗寺

浄土真宗蓮如上人が、文明9年(1477)に創建した守口御坊がはじまりとされています。たびたび戦火や風水害に見舞われて、現在の本堂は文化4年(1807)に再建されたものです。戊辰戦争で敗走した幕府軍を追討する名目で、慶応4年(1868)に京を出陣した明治天皇軍は3月22日に難宗寺を行在所としました。この親征には大阪遷都の意図もあって三種の神器も近隣の盛泉寺に奉安されて、守口は一夜の帝都になりました。境内には樹齢約500年、枝張り約15mの大イチョウがあり、寺院北西角には「御行在所」「すぐ守口街道」など4つの碑があります。

5 盛泉寺

東本願寺の末寺で、慶長11年(1606)に教如上人が開基したとされます。現在の本堂は天保11年(1840)に再建されたもので、庫裏、書院、鐘楼も当時のものが残っています。慶応4年(1868)の明治天皇大阪親征の際、三種の神器を祀る内侍所の奉安所となり、その石碑が立てられています。

6 瓶橋跡

現在、暗渠となっている道路わきに瓶橋と刻まれた橋柱が残っています。宿場町の北の入り口にあたり「口を守ること瓶のごとし(不用意な発言を慎む)」ということわざと「守口」をかけて命名したといわれています。

7 一里塚跡 上見附

秀忠が五街道を整備したとき、一里(約4km)ごとに土を盛って松や榎を植えて目印にしました。浜町の一里塚付近は、守口宿の江戸側の入り口である「上の見附」にあたり、大名の通過時には庄屋や村役人が麻の上下を着て送迎しました。

8 守口宿本陣跡

本陣とは、大名、幕府役人、勅使などが宿泊する屋敷で、守口宿の道路幅は2間半(約4.6m)と定められていました。しかし、本陣前だけは、人や荷物の継立がおこなわれたところで、いまでも道幅が広くなっています。

9 大塩平八郎ゆかりの書院跡

天保の大飢饉に「救民」の旗を掲げて挙兵した「大塩平八郎の乱」に呼応した豪農・白井家の書院跡です。白井家当主・孝右衛門は、大塩の私塾・洗心洞の有力門人で、経済的な支援もおこなっていました。

文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。
なお、掲載している情報は2026年3月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro
協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会　(お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp
後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

https://www.osaka-asobo.jp または 大阪あそ歩 で検索

ご注意
※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。
※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。住宅敷地内での写真撮影は厳禁です。

ご案内
※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

Osaka Metro × 大阪あそ歩 × 歴史街道　毎月第1金曜日発行

駅スタンプ押印欄

制作:大阪あそ歩委員会・茶谷幸治　編集:伏見佳子　デザイン:たばるかつこ　イラスト:櫻井さなえ